

議会運営委員会会議録

(閉会中 令和5年 8月29日)

長 与 町 議 会

長与町議会運営委員会会議録（閉会中）

本日の会議 令和5年 8月29日
招 集 場 所 長与町議会第1委員会室

出席委員

委 員 長	竹 中 悟	副 委 員 長	堤 理 志
委 員	西 田 健	委 員	中 村 美 穂
委 員	金 子 恵	委 員	山 口 憲一郎

欠席委員

なし

出席委員外議員

議 長	安 藤 克 彦	副 議 長	西 岡 克 之
-----	---------	-------	---------

職務のため出席した者

議会事務局長	荒 木 秀 一	議 事 課 長	福 本 美也子
係 長	江 口 美和子		

説明のため出席した者

町 長	吉 田 慎 一	副 町 長	鈴 木 典 秀
教 育 長	金 崎 良 一	総 務 部 長	青 田 浩 二
企画財政部長	村 田 ゆかり	建設産業部長	山 口 新 吾
健康保険部長	森 川 寛 子	水 道 局 長	渡 部 守 史
会 計 管 理 者	田 中 一 之	教 育 次 長	山 本 昭 彦
総 務 課 長	荒 木 隆		

本日の委員会に付した案件

- （１）協議事項について
- （２）令和5年第3回長与町議会定例会について

開会 9時30分

閉会 10時49分

○委員長（竹中悟委員）

皆さんおはようございます。定刻になりましたので、委員会を開会いたします。

また、定足数に達しておりますので、直ちに委員会を開会をいたします。今日はまず私どもの議会の委員会をしばらくやりまして、それから10時頃、理事者を含めた令和5年第3回の定例会につきまして審議をしていただきたいと思います。まずもって7月18、19日の研修におきまして、皆さま方本当にお疲れさまでございました。大変強行軍で申し訳なく思っております。それと同時に少しこちらの手違いもありまして、研修時間があまり無かったということで大変申し訳なく思っております。

それではまずこの2番目の協議事項に移らせていただきたいと思います。実は前回、皆さま方に要は議長から諮問いただきましたICTの件、それから議員報酬の件、それから議員定数の件、この3件を諮問されておきまして、このうちの2件について先に審査をしようということと同時に、皆さま方にこの3件につきましては、議会運営委員会の個人の非公式ではございましたけど、個々のご意見は聞かしていただけて、報酬につきましても今から見直すべきだということと、それからタブレットは皆さん導入をするというふうなご意見を頂いたと思っておりますが、これについて皆さん方、そういうことでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

今なぜそれを確認したかといいますと、実はこの1番に書いてありますように、今度全議員の方にアンケートをとろうと思ってるんですね。議会運営委員会はみんなやろうということで一致してるわけですけど、やはり中には反対の方もいらっしゃるし、いろんな分のご意見を聞いて、これは全会一致ということじゃなくて、大多数がこれに同意を頂ければ、もうその方向で進もうということで考えておりますので、皆さま方、ご承諾を頂きたいと思っておりますけど、いかがでしょうか。

ありがとうございました。それではそういうふうな形でとらせていただきたいと思います。まず議員報酬およびタブレット導入に係るアンケート、これは一応ひな型を皆さんに差し上げておりますので、ちょっと見ていただけますでしょうか。この2枚のやつですね。これについて皆さま方にこの文章でいいか。内容がこれでいいかというのをちょっとご審査をいただければとそう思うんですけど、ご意見がある方は。これで取りあえず一読していただきますので、暫時休憩いたします。

（暫時休憩）

○委員長（竹中悟委員）

それでは休憩に引き続き、委員会を再開をいたします。

今皆さんに差し上げておりますように、こういう形で皆さんにお出ししたらどうかということで、まず1ページ開いていただきまして、議員報酬について、これを現状で満足してる。検討すべき。というのを一応2項目。それから検討すべきと回答された方につきましては、また2つ、報酬の増額を検討すべき。減額を検討すべきと。そして大き

な3つ目に議員の報酬についてのご意見を聞かせてくださいということで、一応書いております。そして一番後ろのページに一番裏側ですね。これは参考までに人口規模で一応書きました町の長与町が全国で17番目ですね、人口がですね。その前後ということで一応資料を作らせていただいて、他町がどのような形になっているのかということで、参考の数字を入れております。これまで提出した方がいいのかどうかということも皆さんにご審議をいただきたいと思うんですね。ですから報酬の件につきましては、そういうことと、あとタブレットの導入につきましても、これは必要性がある。必要を感じる。ということと、必要がない。必要性を感じない。そしてタブレットの導入に当たりご意見を聞かせてくださいという同じようなパターンで、この2項目を今度の全協に提出をさせていただければと思うんですけど、皆さま方のご意見を聞かせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

金子委員。

○委員（金子恵委員）

すいません、最後のこの表なんですけど、多分皆さんがこの定数とか人口規模、定数、報酬の月額ということで比較をするときに、もう一つ面倒なんですけど、年間の一般会計予算というか、予算規模がおおよそでいいので分かれば比較対照ももっとやりやすいかなと思うんですけど、手間なんですけど、よかったらそれを希望したいと思いますけど。

○委員長（竹中悟委員）

今の金子委員の言われたのも実は私もその財政力等、それを入れようかなあという考えはあったんですね。ただ時間が無かったので大丈夫かなという形で、事務局にお願いしていたものですから、これについて事務局どうですか、間に合いますか。

○議会事務局長（荒木秀一君）

この参考となる報酬の表につきまして一般会計予算規模、こういったものを挿入するようにしたいと思います。

○委員長（竹中悟委員）

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

このアンケートをとられるというのは非常にいいことだと思うんですが、この報酬のところの例えば検討すべきに丸を付けた場合は、2番に移るわけなんですけれども、この報酬の増額、減額、検討すべき、年ではなくて月額がいいんじゃないんでしょうか。というのが、新人議員は月額は分かりやすい、分かっていると思うんですけど、年額でもらったことはないわけですから、1年間でっていう表記はなかなかよそでもないと思うんですね。ですので分かりやすくするべきでは今25万8,000円とか、そういうふうに継続して議員になられてる方は、おおよそもちろん分かっているんじゃないかなと思うんですが、その方が全ての議員に分かりやすいのではないかと思います。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

いやこれは僕も月と書いていたら年と書いてありますね。これで多分私のミスだと思います。すいません。これは月だと思いますので、ありがとうございました。他に何かご意見ございませんか。

堤委員。

○委員（堤理志委員）

議員報酬の②ですね。検討すべき。見直すべき。と回答された方にお尋ねしますというところの設問が1と2、これが結論ありきで書かれてるんですが、その結論を導き出すために検討したいという人もいるとは思うんですよね。だから何かそういう項目をもう1つほしい。入れた方がいいんじゃないかなという気がします。また自分の中で結論が出てなくて、今後いろんな資料を見ながらどうあるべきかというのを結論を導き出したいという人も、いずれかに丸を付ける案が要るんじゃないかという意見です。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

今堤委員から意見出ましたが、皆さんいかがでしょうか。今の堤委員の意見もごもっともだと思うんですけど、これを一つ追加するようにしますか。皆さんのご意見でございますので、事務局対応をお願いしたいと思います。他に何かございますか。この報酬についての件について。一つは私がちょっと心配したのは、これ月に幾らということを果たして数字として出せるのかなあという気持ちもあるんですよね。ですからここについては要は数字の根拠というのがなかなか難しいので、この分については書いてもいいし、書かなくてもいいような形もとれるのかなあというふうに思ってるんですよね。だからアンケートの書き方をちょっと少し変形的に変えて、今の堤委員の意見とそれからこの数字が書けない人にとっては下の報酬についての意見を聞かせていただくということで処理をしたらどうかと思うんですけど、皆さんいかがですか。

金子委員。

○委員（金子恵委員）

ちょっとおせっかいかもしれないんですけども、この報酬に関して本当にその自分の意見を普通の考え方とどういうその差があるかというのをここに書こうと思ったらインターネットで拾えば幾らでも資料というのが報酬の根拠とか、そういうのは幾らでもあるので、各人が必要であればそれを調べた挙げ句に自分の考えを持って、意見を書くというふうなそのくらいはもう実際もう同じ仕事をしてるので皆さんが任せていいんじゃないのかなと思うんですけど。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

ほかに意見ございませんか。

今の金子委員の意見に対して、皆さん方どうですか。

西田議員。

○委員（西田健委員）

すいません、今の意味がちょっとよく理解できてなかったんですけども、今のは3番に対しての意見についてだったんですか。ちょっとすいません。

○委員長（竹中悟委員）

暫時休憩します。

（暫時休憩）

○委員長（竹中悟委員）

休憩を閉じて委員会に移行します。

西田議員、いいですか、質問は。どうでしょうか。私も局長と一緒に作りながらですね思ったんですけども、この数字というのは、ちょっと難しいのかなと思うんですよね。それと後から言おうと思ったけど、これについての開示はもうしない方がいいんじゃないかなと思うんです。一部インターネットでいろんなことを書く方もおられますので、この人がこう上げろとか、この人が低くしろとか、そういう抽象論が出てくると思うんですよ。ですから私はこれについては、一応もう委員会で一応秘密事項として処理をすると。そして開示しない。マル秘ということで取り扱いをしないと、これはもう最後に僕は言おうかと思ったんだけど。それはぜひ委員長として皆さんにお願いをしたいんですよね。そうしないと数字を出すとすると住民の方はこれは高い安いというふうな評価をしてしまう、勝手にですね。それを今度は悪用してこの人は高く言ってるとか、そういう文書になる可能性がある。ですからそれについてはぜひ皆さんご協力をいただいて、もう全協の中でもこの分については開示はいたしませんということを、これは委員会条例の中でもちょっと1回調査をして今まで確定的なこと言えないけど、そういう意向でいきたいとそういうふうに思ってますので、皆さんご了承いただいてると思いますので、よろしく。

堤委員。

○委員（堤理志委員）

おっしゃるのは分かるんですけども、それをやりますと今度は議会が秘密会にしている、今度はそういうことで住民の不信が出る可能性があるということと。あと議会基本条例の中で報酬のことについては、もう広く住民に説明しながらっていうのがあったと思うんですよね。ですから逆になぜ上げるべきなのかにしろ、下げるべきか、現状維持か、それぞれがやっぱりそれぞれの信念に基づいて話した方が逆に住民も信頼をもらえるんじゃないかなというふうに思って、もう逆にオープンにした方がインターネットでうんぬんというのはあるかもしれないけど、逆に秘密会にしたということが今度ツイッター等々でSNSで拡散するっていうのもリスクかなというのも思うんですよね。

○委員長（竹中悟委員）

今堤委員から反対の意見が出たんですけど、皆さま方どうでしょうか。私は基本的にはこの数字をこの報酬のことについては基本的には上程議案として、要はその町長の諮

問機関である報酬審議会が町長に答申をして、町長が決定するということだと私はそういうふうに思ってるんですよ、形としてはね。この中でのアンケートをとるということは、出していい所と出していけない所はやっぱり幾らかはあっていいんじゃないかなと思うんですね。確かに今堤委員が言うようにオープンにして皆さんの意向を皆さんに知らせた方がいいですよということはあるんですけど、これはもう非常に微妙なその神経戦みたいな形になる可能性がありますよね。住民の方も上げろ上げろという方は、あんまりいらっしやらない。それと公務員と議会というのはやはり税金で食っているんじゃないかというような、そういうふうなやっぱり偏見の方も結構おいでになるんですね。ですからその辺はどちらにしていいいか、私個人とすればこのアンケートについては出す必要ないと。しかし、この報酬の結局審議をするに上においては、まだ今からこの報酬審議会をする分については、ずっと私たちはこの委員会で揉んでいかんといかんわけですから、あくまでもこれは参考として私たちは頂くわけですから、その会議の内容については当然オープンにしていかなくちやいけないと、そのように思ってるんですね。ですからこれちょっと賛否両論あるみたいですけど、皆さん方にもう1回ちょっとお諮りして、極力総意の中で進めたいと思ってるんですけどね。もう一度ご意見があればお願いしたいと思います。

山口委員。

○委員（山口憲一郎委員）

確認も含めてですけども、私の周りは給与に対しては、少なかたいていう人が全体的に1軒1軒聞いて回ったわけではないですけど、増額には私は賛成であるんですけども、今それぞれの意見が出ておりますけども、公表する公表しないというあれもありますけども、このアンケートの中でお金を提示するところがありますよね。もう逆に単純な考えか知りませんが、増額なら増額するというだけでも皆さんの気持ちが分かるんじゃないかなという思いはしますけども、そっちがいいんじゃないかなとは考えております。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

他にご意見があれば。これはもうお1人ずつ皆さんに聞いていきたいと思います。

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

議会のアンケートなので名前を書いて出すということは当然だと思うんですけど、誰がどう書いたとか、あくまでもその議員報酬についての審議の基礎になるものということととられると思うんですね。そうしますと、別に誰がどう書いたとか、そういうことまで開示する必要は私はないんじゃないかな。もちろん秘密会というかそういう審議があっていて、増額を思っている人が何人とか、そういうような言い方はいいかもしれませんが、先ほど委員長が言われたように、SNS等でもう誰がどう、誰がどうってというようなことも何か表現の自由かもしれませんが、そういうような形になっていっ

てるのが今現状ですので、このアンケートについて例えば何々議員がこう書いた、ああ書いたっていうところまで議会運営委員会ではもちろんペーパーで来るかもしれませんが、それをいちいち公表することではなくて、今どういう形で審議をしていて、増額を検討している意見としてそういうようなことは開示すべきだと思うんですね。秘密にこそそそやって議員が集まってっていうのはそれはよろしくないと思いますが、このアンケートについて名指しで公表する必要は私は無いと思ってますので、そういう方法でされたいかがかと思います。

○委員長（竹中悟委員）

それでは西田委員。

○委員（西田健委員）

私も前回もちょっと言ったんですけども、本来もう議員報酬と他の案件は別個っていうことでもうそれはもう了解するんですけども、やはり先ほど堤委員が言われたように、まずはオープンにした方が私はいいと思っております。ただ誰がどうのこうのというのは別として、そういう決め方は公開した方がいいと思っております。ただ、今の現状では町民の方も多分あまり理解を得られないだろうとは私も思うんですけども、やはり秘密裏にやったときは、もっと反動が返ってくるんじゃないかということで思っております。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

金子委員。

○委員（金子恵委員）

まずこのアンケートを議会運営委員会で報酬のことを審査、今から協議するときの皆さんのご意見としてっていうことでアンケートをとられると思うので、もうそこはもうそのままで。最終的にそれを例えば円グラフにしたりとか、いろんなコメントを作った一覧にした資料になると思うんですね。そこには例えば金子が報酬を50万円と書いてたとか、例えばそういうふうなものっていうのは分からない状態で多分資料づくりをされると思うので、それが公開されたからといって、例えば1人は18万円やったけど、50万円この間で大体その何万円から何万円が何人みたいな、その程度の資料であれば公開しても全然構わないかなと。ただ議会の考え方というのが、この議運での話し合いというのがきちんと一本筋が通って決まりかけ、決まった上でこういうその過程があってこういうふうに決まっていきましたっていうところの公開というのは、その時点での公開ということで考えられた方がいいんじゃないか。中途半端に出すとやっぱりある意味いろんな批判もあるでしょうし、それまでに住民の皆さんの意見を聞くという体制のやっぱり議会が多いと思うので、そこは委員長がどのように考えるかは分かりませんが、その住民の声を聞く時間というのも機会というのもやっぱり持つべきだと思うので、それをどう反映されていくか分からないけど、最終的な時点での公開ということで私はいいと思いますけど。

○委員長（竹中悟委員）

堤委員もう1回お願いします。

○委員（堤理志委員）

すいません、さっき申し上げたことの補足的な補足というかになるんですけども、議会基本条例というのが議会の最高規範でそれに反することはしてはならないともう決まってるので、若干そこと抵触しないかどうかというのを少しもう1回調べてから結論出した方がいいのかなと思うのが1点と、それから議員報酬についての議論というのは、私はやましいことじゃないと思ってますよね。増やすにしてもイメージとしては自分の収入を上げるのかというそういう捉え方もあるかもしれないけど、それこそそのままじゃその議員のなり手、目指す人も出てこないし、それがひいては議会の活性化にもならない。行政を監視する役もうまく果たせないと、そういうふうになってきて、本当にいいんですかっていうことをやっぱり広く議論すれば、それをちゃんとオープンにすれば逆に住民もああそうよなあというふうになっていくと思うので、ぜひ公明正大にやってみてるところをむしろ知らせた方がいいのかなと、ちょっと補足的にそういうふうに思っております。

○委員長（竹中悟委員）

山口委員。

○委員（山口憲一郎委員）

先ほど私は中途半端な回答であつたんですけど、私は個人的にはもう山口憲一郎は何十万円というのはまったく個人的には構いませんけども、ただ、どっちにするかという議論の中では、今金子委員が言われたように、どうせ集計はして誰々がこれだけしたよというそういうことじゃなくて、それとまとめた中の例えば今言っておりましたけど18万円から何十万円、これ何人と、そういったやり方の方が逆にいいんじゃないかなという思いはしております。

○委員長（竹中悟委員）

それでは委員外議員でありますけど、副議長よかったですらご意見があつたらお願いします。

○副議長（西岡克之議員）

ご指名でございますので、一言述べさせていただきます。今委員の皆さまが縷々述べられたことに関しましては、それぞれ尊敬するに値することだと思います。中村委員の発言また金子委員の発言は、私も同調する部分が多いと思います。委員長が申されましたようにこれを書くことによってSNSで上げられて、自分を律するために上げられるという感がいたします。そういうことに使われるのはちょっと心外でございます。あくまでも公平な目を見てされるのであれば別に問題はないと思うんですけど、申しますように、それを自分を律するような上げ方を今まで感じられました。そういうのに使われるのは私としては心外でございますので、あくまでも審議の途中では名前が特定され

ない。しかし、審議の過程を先ほど金子委員が言われたように何万円から何万円の間では何%がいるとか、そういう形の公表はむしろ望ましいのではないかなというふうに思います。町民の皆さまが全てが全て、その議員の処遇に対して知っているとは思いません。例えばまだ大半の方は議員が年金があると思われてる方も多々いらっしゃいます。そういう中で報酬だけのことを片っ方を取り上げられて、それが全てのように思われるのは心外でございますので、私としては先ほどお2人が述べられた中村委員、金子委員が申されたような形で審議をしていくのがベターではないかなというふうに思っております。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

ありがとうございました。10時になりましたので暫時休憩をして、それから終わった後に、理事者側の会議が終わった後に、これを続けさせていただきたいと思います。暫時休憩いたします。

（暫時休憩）

○委員長（竹中悟委員）

それでは休憩を閉じて委員会を再開いたします。

続きまして、9月5日招集の第3回定例会の運営につきまして会議次第により会議を進めますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。それではまず令和5年第3回長与町議会定例会についてを議題といたします。提出予定の議案等について町長より概要の説明を求めます。

吉田町長。

○町長（吉田慎一君）

改めまして皆さんおはようございます。本日は大変お忙しい中、第3回定例会に係ります議会運営委員会を開催をさせていただいております、誠にありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。早速でありますけれども概要説明に移らせていただきたいと思います。今回の定例会におきましては報告が3件、それと議案が16件を予定をしているところでございます。提案内容につきましては、これから所管の部長から説明をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。以上でございます。

○委員長（竹中悟委員）

それではまず総務関係について。

青田総務部長。

○総務部長（青田浩二君）

皆さんおはようございます。総務部所管の提出議案についてご説明申し上げます。議案1件でございます。議案第61号人権擁護委員の推薦についてでございます。こちらは任期満了に伴い人権擁護委員の推薦を行うもので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を願うものでございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（竹中悟委員）

次に企画財政部関係について。

村田企画財政部長。

○企画財政部長（村田ゆかり君）

皆さまおはようございます。企画財政部所管の提出議案等について、ご説明申し上げます。今回は報告が1件、議案が1件ございます。まず報告11、令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率についてです。これは地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項および第22条第1項の規定により報告をするものです。次に、議案第48号令和5年度長与町一般会計補正予算（第4号）です。これは既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4,365万7,000円を追加し、補正後の予算総額を151億292万4,000円とするものです。補正予算の主なものとしたしましては、令和3年度及び4年度の各種事業費の確定に伴う過年度精算金、長崎県施工の町道3工区10号線舗装補修工事費の地元負担金、西高田線街路整備工事費などを計上いたしております。以上2件でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（竹中悟委員）

次に、住民福祉関係について、宮崎部長が欠席をしておりますので、青田総務部長、代わりをお願いします。

青田総務部長。

○総務部長（青田浩二君）

住民福祉部所管につきましてご説明申し上げます。報告2件、議案が1件でございます。それでは報告12、長与町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例および長与町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例に係る専決処分の報告につきましては、こども家庭庁設置法および関係法令の施行により、関係省庁からこども家庭庁に所掌事務が移管されたことに伴い、地方自治法第180条第1項の規定に基づき令和5年8月8日に専決処分を行いましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。続きまして、報告13、和解および損害賠償の額の決定に係る専決処分につきましては、本報告は、本町岡郷で発生した交通事故に係るもので和解および損害賠償の額を定めることについて、地方自治法第180条第1項の規定により、令和5年8月18日に専決処分を行いましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。報告は以上です。

続きまして、議案第46号長与町印鑑条例の一部を改正する条例でございます。本議案は、印鑑登録証明書の窓口交付に関する規定について改めるとともに、署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い、印鑑登録証明書のコンビニ交付に関する規定を改めるものでございます。以上よろしくお願いいたします。

○委員長（竹中悟委員）

次に健康保険部関係について。

森川健康保険部長。

○健康保険部長（森川寛子君）

皆さまおはようございます。健康保険部では、議案3件でございます。まず、議案第49号令和5年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ1億886万9,000円を追加し、補正後の予算総額を42億3,330万7,000円とするものです。補正の主な内容といたしましては、令和4年度決算に伴う繰越金や国保システム改修費用などを計上いたしております。

次に議案第50号令和5年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきましては、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ226万7,000円を追加し、補正後の予算総額を6億3,251万5,000円とするものです。これは令和4年度決算に伴う繰越金を計上いたしております。

次に、議案第51号令和5年度長与町介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、既定の保険事業勘定の予算の総額に歳入歳出それぞれ2億1,697万7,000円を追加し、補正後の予算総額を31億998万4,000円とし、また、既定の介護サービス事業勘定の予算の総額に歳入歳出それぞれ257万7,000円を追加し、補正後の予算総額を3,037万5,000円とするものです。補正の主な内容は、保険事業勘定では令和4年度決算に伴う繰越金や介護保険認定支援システム更新に係る費用などを、サービス事業勘定では、令和4年度決算に伴う繰越金を計上いたしております。健康保険部所管は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（竹中悟委員）

次に、建設産業部関係について。

山口建設産業部長。

○建設産業部長（山口新吾君）

皆さまおはようございます。建設産業部では、議案1件を予定をいたしております。議案第47号町道吉無田女ノ都線舗装修繕工事請負契約の締結についてでございますが、本工事の請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号および議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。工事の概要といたしましては、吉無田郷にあります南交流センター付近からサニータウン団地を通りまして、丘の上公園付近にかけて舗装の打ち替え工事を行うものでございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（竹中悟委員）

次に、教育委員会関係につきまして。

山本教育次長。

○教育次長（山本昭彦君）

皆さまおはようございます。教育委員会からは、議案第60号長与町教育委員会委員

の任命についての議案が1件でございます。令和5年9月30日をもちまして任期を満了いたします長与町教育委員会委員の任命につきまして、議会の同意をお願いするものでございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（竹中悟委員）

次に水道局関係について。

渡部水道局長。

○水道局長（渡辺守史君）

皆さまおはようございます。水道局所管では、議案2件を上程しております。それでは議案第58号令和4年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について。そして、議案第59号令和4年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定についての2件につきましてご説明申し上げます。本議案は、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づく剰余金処分、併せて同法第30条第4項の規定に基づく決算を議会の認定に付するものでございます。その概要といたしまして、議案第58号水道事業においては、水道事業収益8億650万3,392円。水道事業費用6億7,623万4,511円。資本的収入1億9,147万2,200円。資本的支出2億9,850万3,703円となっております。次に、議案第59号、下水道事業におきましては、下水道事業収益10億465万968円。下水道事業費用8億9,782万284円。資本的収入2億2,514万3,140円。資本的支出5億5,776万8,225円となっております。以上、水道局所管2議案につきまして、ご審議をお願いするものでございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（竹中悟委員）

次に、会計課関係について。

田中会計管理者。

○会計管理者（田中一之君）

皆さまおはようございます。会計課所管の議案につきましてご説明申し上げます。議案第52号から第57号までの決算6議案につきまして、地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定をお願いするものでございます。それでは、議案第52号令和4年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定についてご説明いたします。歳入総額154億4,288万6,127円。歳出総額142億9,453万3,846円。歳入歳出差し引き額は11億4,835万2,281円となり、翌年度へ繰り越すべき財源の繰越明許費繰越額は1,853万6,000円。実質収支額は11億2,981万6,281円でございます。このうち地方自治法第233条の2に規定による基金の繰り入れ額は、5億7,000万円としております。次に、議案第53号令和4年度長与町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定につきましては、歳入総額898万7,198円。歳出総額77万6,475円。歳入歳出差し引き額および実質収支額は、121万723円でございます。次に、議案第54号令和4年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

では、歳入総額43億3,099万4,631円。歳出総額42億2,418万9,833円。歳入歳出差し引き額および実質収支額は、1億680万4,798円でございます。次に、議案第55号令和4年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定では、歳入総額5億9,893万5,523円。歳出総額5億9,666万7,523円。歳入歳出差し引き額および実質収支額は226万8,000円でございます。次に、議案第56号令和4年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定につきましては、保険事業勘定では、歳入総額31億1,797万6,387円。歳出総額28億9,786万3,375円。歳入歳出差し引き額および実質収支額は、2億2,011万3,012円。介護サービス事業勘定では、歳入総額3,248万8,712円。歳出総額2,990万9,920円。歳入歳出差し引き額および実質収支額は、257万8,792円となっております。最後に、議案第57号令和4年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定では、歳入総額24億2,617万2,453円。歳出総額12億2,344万7,739円。歳入歳出差し引き額は12億272万4,714円となり、翌年度へ繰り越すべき財源の繰越明許費繰越額は、4億8,320万9,000円。実質収支額は7億1,951万5,714円となっております。以上6議案につきまして、各会計の決算の認定をお願いするものでございます。

○委員長（竹中悟委員）

次に、一般質問の通告ならびに請願について説明をさせます。

荒木議会事務局長。

○議会事務局長（荒木秀一君）

一般質問につきましては、通告者7名、質問件数14件、通告者および質問項目は、お手元に配布のとおりでございます。請願は1件、陳情は1件あり、お手元に配布のとおりでございます。陳情は参考配布を予定しております。

○委員長（竹中悟委員）

続いて、委員会への付託先についてお諮りをいたします。総務厚生常任委員会に付託するものは、議案第46号、議案第49号から議案第51号、議案53号から議案第56号。産業文教常任委員会に付託するものは、議案第57号から議案第59号、請願1号。議案第48号、議案第52号につきましては、総務厚生常任委員会および産業文教常任委員会へ分割付託といたします。本会議即決につきましては、議案第47号、議案第60号、議案第61号。以上、委員会の付託につきましては、ただ今のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。従って、委員会への付託につきましては、ただ今のとおり決定をいたしました。

続きまして、会期日程案について説明をさせます。

荒木議会事務局長。

○議会事務局長（荒木秀一君）

会期につきましては、9月5日火曜日から9月21日木曜日までの17日間で、5日火曜日、議長報告、行政報告、報告事項、議案上程、提案理由説明まで、その後、全員協議会を開きます。予定です。6日水曜日、7日木曜日、一般質問、議案審議、質疑、付託または即決、8日金曜日、付託案件審査、9日土曜日、10日日曜日、休会、11日月曜日から15日金曜日まで付託案件審査、16日土曜日から18日月曜日まで休会、19日火曜日、20日水曜日、付託案件審査予備日、委員長報告取りまとめ、21日木曜日、委員長報告、採決。以上でございます。

○委員長（竹中悟委員）

会期日程案につきましては、ただ今の説明のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。従いまして、第3回定例会の会期日程につきましては、以上のとおり決定をいたしました。他に皆さんから何かございますか。

ないようでしたら以上をもちまして、令和5年第3回長与町議会定例会につきましての審議を終了いたします。執行部は退席をお願いします。

暫時休憩いたします。

（暫時休憩）

○委員長（竹中悟委員）

それでは休憩前に引き続きまして委員会を再開したいと思います。

先ほど副議長の方にご意見を頂きましたけど、議長に次お願いしたいと思うんですけども、これは議長は私どもに諮問をした立場でありますので、議長の意見というのは、本当に参考程度のことでお話を頂ければとそうように思ってます。

議長、お願いします。

○議長（安藤克彦議員）

おはようございます。私から諮問したことに対して私がどうこうという意見を述べるのは適当ではないかと思いますが、委員会の進め方として先ほどの皆さんからとったアンケートをいわゆるデータ化して公表するっていうんですか、個別事項はなしにして。名前を載せてもいいという方もいらっしゃいましたが、そのやり方が一番今回の場合は適切じゃないかなと。それとちょっと情報として、私の方から町長の方には、報酬審議会の開催を文書の方で直接お会いもしましたけども、依頼をしております。で、その報酬審議会自体は当然町長諮問で行われて、上げる上げないの判断は、町長あるいは諮問委員会の方が行うわけですが、そのための基礎資料づくり、当然、執行部の方から議会としての意見も聞かれると思いますので、そのために今、竹中委員長がこういったいわゆる資料のための情報を集めているということで、今回こういったアンケートをとらしていただくということで、ご理解いただけたらと思います。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

ありがとうございました。それじゃあ今皆さんの意見の総意を考えますと、これはもう個別のものはなるべく出さないようにするんですが、やはりその資料としては大体この議会の考え方というのは、皆さんには公表しなくちゃいけない。これは私も一貫した意見で皆さんと同じ意見で持っておりますので、これについては少し検討させていただいて、文章の作り方を考えさせていただければと、そのように思っております。確認をいたしますけど、この今の報酬の件について進めてるアンケートを進めておりますけど、この中で先ほど金子委員から言われました要は歳入の総額ですね。それと財政まではいなくても一般会計の総額ぐらいまでは入れていただきたいと、それを一つ希望されておりました。それともう一つは、数字じゃなくて要は根拠といいますか、これについても皆さんの意向をとらしていただいて文書で書いていただく。それとあと2番目の要は金額を上げる分について、具体的な金額が出せるかどうかという部分については、ちょっとクエスチョンじゃないかなとそういうふうに思っておりますので、それを考慮しながら今度の全員協議会の中で提出をさせていただければと思っております。それともう一つ、一番大切なことは、先ほど議長からも言われましたけど、これを個人の名前を書いていただくかどうか、これについてはいかがでしょうか。皆さんちょっと意見を聞かせていただきたい。私とすればやっぱり責任持って自分で考えて出していただくので、個人のお名前も出したらいかがかというふうに思っております。ただ、先ほど申し上げましたように、住民にオープンするときには、名前じゃなくて結局ある程度数を報告をするという形になると思いますけども、これについて皆さんにご意見を頂ければと思っております。堤委員。

○委員（堤理志委員）

今お話の中で報酬等審議会に対する基礎資料として作成しているものですので、何ていうかな、一応名前はやっぱり責任持って名前を書いて出しはするけども、誰がいくらとかその個別のことを公表することはそもそも目的じゃないので、そこは紳士協定みたいなみんなでそこはお互い拘束するのはちょっとまずいけども、そういう目的じゃないですよということを全協の中で確認するというのがいかがかなという。ちょっとそういうふうに思っております。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

他にありませんか。皆さん賛成ですね。基本的に私ももうそういう感覚の中で先ほどちょっと先ばしって言ったんですけど、皆さんに名前まではと、一般に公表するという形をとりたくないもんですから、基礎資料として名前だけは一応書いてはいただくけど、それを公表する気持ちはございませんので、よろしくお願いします。それではこの報酬につきましては、これでアンケートを終わらせていただきます。

続きまして、タブレットにつきまして、皆さんにご審議をいただきたいと思います。このタブレットについて今皆さん方にお渡してる資料につきまして、何かご意見がござ

いましたらお願いしたいと思います。皆さんこれで形がタブレットとすれば、これは私達も全会一致でやっておりますし、この形でいいんだと思いますけど、これに付け加えるものがもしあればと思いますけど、これでいいですか。じゃあこのような形で出させていただきますしたいと思います。それからこのタブレットについては、やはりほとんどもうこれは長年の懸案事項でありますし、前回からの要は申し合せの事項でもありますので積極的に進めたいと思います。それで、実は長崎市と研修をですね。長崎の市議会と研修を一応今やろうということで計画をしております。これが10月4、5、6日、この3日間のうちで決定をしてくださいと。今長崎市の方も導入をしてまだ新しいんですけど、ご意見とかそれから財政的なものをお尋ねをしたいと思いますので、それについて出張研修みたいな形でさせていただき、最終的には議長からの意見もございましたので、全体に出張命令を出していただいて、私たちは一応議会運営委員会として一応開催をするわけですけど、一般の議員もご参加いただいて、これ出張命令を出していただいて、参加をしていただきたいとそうように考えております。日程をこの議会運営会で取りあえず決めておきたいと思いますが、10月4、5、6日で、皆さんどうしても行けない日があったらおっしゃってください。今ですね10月4、5、6日、水、木、金なんですよ。この中で1日、そして向こうにも向こうの状況もありますから、向こうが大体4、5、6日のうちということで話がありますので、4、5、6日のうちでいい日を決めていただきたいと思いますけど、もう4日でいいですか。皆さんどうですか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしですね。4日に決定をしたいと思います。あとは時間につきましては、やっぱり長崎市の時間に合わせなくちゃいけないと思いますので、9時半というのはちょっと無理だと思いますので、10時ぐらいからということで、お願いしていかがでしょうか。4日の10時ちょうことで、一応こちらの決定をさせていただきまして、向こうの議会と調整をして正確な時間は4日なら4日ということで、正確な時間があれば後日、皆さんにご連絡を差し上げたいとそうように思ってます。

それと3つ目の議員定数につきましては、前回皆さま方のご意見を聞いたところ半数、大半がまだちょっとこの定数でいいんじゃないかというようなご意見だったというふうに私も理解しております。ですからこの定数につきましては、まだ時間があります。来期の結局あと3年半時間がありますので、決定しても次の期から適用ということになりますので、これは少し時間をかけて状況を見ながら皆さん方とお話し合いをさせていただくということで、お願いをしたいと思います。いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。他に何か皆さんご意見何でも結構です。おっしゃっていただければと思いますけども。

金子委員。

○委員（金子恵委員）

だめもとでちょっとお願いがあるんですけど、というか検討をちょっとしていただきたいというのがあって。この間、委員会運営ということで研修を受けましたけど、その中の資料の中に、所管事務調査をした場合に住民に対して広く公表するじゃないけど、何かそういう項目があったんですね。住民の皆さんに対して所管事務調査の内容を公表するというのは、まだその段階ではないと思うんですけど。例えば総務厚生で委託のことに關してやりました。所管事務調査をしました。産業の方で水道関係の新しい施設に關して、こういうふうな状況で説明を受けるための所管事務調査をしました。っていうのは、各ボックスに資料だけは入ってるんですけど、その内容的なものっていうのがお互いに共有ができていないという部分もあって、所管事務調査をしたからじゃあすぐにお互いの報告をということではないんですけど、どこかの機会が設けることができれば総務と産業それぞれがした所管事務調査を簡単でいいので、どなたか代表の方に説明をしていただいて、その共有を図っていくということもできればなとちょっと思いまして。例えば水道のことでしたら全協とかで報告はありますけれども、その詳細に關してどうという質疑があつて、こういうふうな内容のことを調査しましたぐらいのことを聞いたら、総務の方としても助かるなど、分からないところを皆さん所管事務調査で聞かれたりするんで、そしたら自分たちの今後の何かのときのためにも勉強になるなと思って、ふとこの間の資料の８ページに書いていたんですけど、それを思ったものですから、ちょっと提案をさせていただきました。無理なら無理で結構なんですけど。もう一つがこのアンケートなんですけど、当然のことですけどデータで頂けるのかなと思ってるんですけど、もしアンケートをすることになったときに、希望者にはデータで頂ければ助かります。以上です。

○委員長（竹中悟委員）

後段の件については、それはもう事務局の方でしていただくということでいいと思います。その前段の分については、やはり今資料とすれば結局所管事務であっても資料、行政側から出した資料というのは共有してもらっている。多分ね。だからそれについては今からちょっと委員長の仕事が多くなると思うんですね。要はね。誰か代表してっていつでも基本的には委員長の報告になってしまうから、その辺については仕事量が増えるということなんですね。ですからこれについては今から少し慎重に考えていかないといけないでしょうね。今即決がなかなかできないと思いますね。だからこれについて今金子委員からそういう提案がありましたので、今後皆さん少し考えていただいて、次回というよりも今度議会運営があつたときに、そういう解決策があれば意見を出していただくとそういうことでいいですか。それではほかに何かありませんか。山口委員、何かあるみたいですけどありませんか。山口委員がないようですから、もう全部ないと思いますので、それではこれで委員会を終了します。

（閉会 １０時４９分）